

3-7

演題	改めまして SGK 委員会です
副題	～三つのテーマをひとつに～

身体拘束
権利擁護

法人名	社会福祉法人 育明会
施設名	レジデンシャル常盤台

発表者名 (職種)	仲程 優子 介護職員	都道府県	神奈川県
共同発表者	古屋 倫子	住所	横浜市保土ヶ谷区常盤台 74-7
共同発表者		TEL	045-348-8001
共同発表者		FAX	045-348-8002
共同発表者		メールアドレス	info-tokiwadai@ikumeikai.net
共同発表者		URL	

今回の発表施設 またはサービスの 概要	平成 23 年 4 月開設、令和 3 年 4 月に増設し新棟併せ本入居 160 床ショートステイ 20 床のユニット型特養です。開設当初より「リスペクトケア」を合言葉に、最期まで「その人がその人らしく」過ごして頂ける様、寄り添ったケアに取り組んでいます。
---------------------------	---

研究の目的、PR ポイント

権利擁護委員会を改め S (身体拘束廃止) G (虐待防止) K (権利擁護) 委員会として今年度新たに発足。ご利用者の尊厳を守ることを目的とし、一回目の研修テーマに身体拘束廃止、二回目の研修テーマに虐待防止、権利擁護と三つの視点からの研修を行った。

取り組んだ課題

- ・ 三つのテーマに焦点をあてて身体拘束廃止、虐待防止研修を実施
- ・ 虐待の芽チェックリストにて不適切はケアが行われているのかを意識調査
- ・ 原点に戻り標語のテーマを「あなたの考える常盤台の介護」として募集

具体的な取り組み

- ・ 研修 第一回目 テーマ「身体拘束廃止」
当施設では身体拘束は行わない為、身体拘束具を知らない職員が多数。身体拘束とは何かを知って頂くべく、身体拘束具ファッションショーを行い実際に拘束具を見て頂き体験して頂いた。個人ワークからグループワーク形式での研修を実施。
- ・ 研修 第二回目 テーマ「虐待防止」
事故防止委員会との合同研修。あり得るかもしれない場面を想定しフィクションな動画を作成し視聴していただいた。個人ワークからグループワーク形式での研修を実施。動画の中で焦点が多くなってしまい複雑になってしまった。
- ・ 虐待の芽チェックリスト配布、回収、集計
- ・ 今年度の標語テーマ「あなたの考える常盤台の介護」
応募数 33 作品を選定し最優秀賞、優秀賞、理事長賞、施設長賞、課長賞、委員会賞の 8 作品が決定し表彰発表を行った。

活動の成果と評価

- ・ 身体拘束廃止研修では、拘束具を初めてみた職員が大半を占めており、「かわいそう」「拘束具は必要ない」等と意見が出ていた。当施設の掲げている

リスペクトケアが浸透しており拘束をしなくてもケアは出来る事、拘束は必要がない事の再認識ができたかと思われる。

- ・ 虐待防止研修では、どこが不適切ケアなのか、適切な対応は何か様々な意見があがった。不適切ケアからの起こり得る事故は何か。事故防止として、どうすれば未然に防げるのか。権利擁護の観点からの研修になり「ご利用者の気持ちにたち自分がされたくない事はしない」と日頃の自分たちが行っているケアに対して考えなおす意識に繋がったと思われる。
- ・ 標語については、原点に戻り各々の意識の調査も踏まえる目的もかねてテーマ決めた。様々な視点から 33 作品の応募が集まり、「常盤台の介護」とは何かの共通認識に繋がるかと思われる。
- ・ 虐待の芽チェックリストについては、前年度と比較すると目立った変化はみられず。不適切な場面を「見た、聞いた」は増えているので職員同士の声掛けや指摘が少なくなってきている可能性も考えられる。

今後の課題

ご利用者の気持ちに立ち尊厳を守ることができる環境の継続、自分自身のケアを見直す機会を作るためにも研修、標語の募集、虐待の芽チェックリストを行い「常盤台の介護」とは何かを共通認識し施設全体の意識向上につながるような内容を企画、提案していきたいと考える。